

よくあるご質問と回答

Q1:過去の助成状況、助成団体の情報を教えてください

A :2022 年度の第 20 回助成事業に関しては、団体育成部門は 4 団体の応募があり、4 団体に助成が決定しました。また、発展助成部門は 15 団体の応募があり、12 団体に助成が決定しました。
過去 5 年間の助成状況及び助成団体の情報は、基金のホームページで公開しています。

※ホームページ内の「その他」の項目をご覧ください。

Q2:どのような方法で、助成が決定されるのですか

A :学識経験者等から構成される当基金の運営委員会が審査・選考を行います。

①書類審査と、②公開審査会の 2 段階を経て助成が決定します。書類審査で選考された団体には、公開審査会で企画内容を発表していただき、最終的な助成先は、当日その場で選考・発表します。

Q3:同じ事業に対し、他から助成金をもらってもよいですか

A . 当基金は他の機関などから助成を受けていても応募することができます。ただし、他の助成事業の中には、他からの助成金をもらうことを禁じているものもあるので、注意してください。他の機関から助成金を受ける場合(予定や申請中を含む)は、その旨を予算に記入してください。

なお、国・県・市の事業(委託、委嘱及び指定管理事業を含む)の場合は助成対象事業から除きます。

Q4:申請額の満額決定はされないのですか(申請額の減額はありますか)

A :申請額は満額助成決定される場合もありますが、減額される場合もあります。

ただし、団体の自立性や事業の継続性を促進する観点から、申請額が事業総額と同額となる助成は行いません。また、続けて応募される団体には、その活動を継続する必要性、団体の自立的発展性を重視するとともに、新規申請団体とのバランスを考慮して、総合的に判断し助成額を決定しています。

運営委員は審査のポイントに基づき、助成希望金額・希望内容が妥当であるかどうかを審査していますので、応募の手引を参考にしてください(応募の手引 6 ページ参照)。

Q5:申請書を書くにあたって記入例はありますか

A :記入例はありませんが、過去に申請された団体の申請書を冊子にしたものがあるので、これを閲覧してもらうことは可能です。

※閲覧希望者は、ひと・まちネットワーク部管理課へお問い合わせください。

Q6:自分たちの活動分野がどの分野に該当するかわかりません

【申請団体の概要】 主な活動分野を選択する設問で、どの分野に該当するのかよく分からないのですが…

A :自分たちが、活動主旨に近いと感じる分野を3つ以内で選んでください。

Q7:申請書をパソコンで作成したい (申請書用のデータがほしい)

A :ホームページ上で、ダウンロードできます(ワード)。 ※申請書配布期間のみ

Q8:申請書をパソコンで作成した場合、枠が伸び縮みしてもよいですか

A :申請書は決められた枚数であれば、文字の大きさや行間を変えたり、スペースを変えたりしてもかまいません。ただし、運営委員が読まれる際、狭いスペースに小さな文字で記入してあると、読みづらい場合があります。うまく相手に伝わるよう簡潔に記入するなどご配慮ください。

パソコンで作成する場合は、枚数の超過にご注意ください(枚数超過した申請書は受理できません)。

【助成が決定した後のこと】

Q9:事業が中止となったり、期間内に実施できなかった場合はどうなるのですか

A :助成金の全額または一部を返還していただきます。 そうしたケースが発生した場合は、早めにご連絡ください。

公益信託広島市まちづくり活動支援基金 ホームページ

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/hm2HP/index2.html>

広島未来づくりファンド

検索

(公財)広島市文化財団 ひと・まちネットワーク部管理課事業係

TEL:082-541-5335

〒730-0036 広島市中区袋町 6 番 36 号

合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟5階